

# Tongali-PF presents

令和6（2024）年度  
大学発新産業創出基金事業  
スタートアップ・エコシステム共創プログラム  
GAPファンドプログラム『ステップ1』

エントリー説明会

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部  
スタートアップ推進室  
(Tongaliプラットフォーム事務局)



※Tongaliは登録商標です

# GAPファンドプログラムの背景

## 大学発新産業創出基金事業

運営主体はJST（国立研究開発法人 科学技術振興機構）

- ◆ 大学発新産業創出基金事業は、スタートアップ育成 5 か年計画（令和 4 年 1 1 月政府発表）などを踏まえ、日本における大学等発スタートアップ創出力の強化に向けて、研究開発成果の事業化や海外での事業展開の可能性検証を視野に入れた研究開発を推進するとともに、地域の中核となる大学等を中心とした産学官共創による大学等発スタートアップ創出支援などの実施を可能とする環境の形成を推進する事業

## スタートアップ・エコシステム共創プログラム

- ◆ 大学等発スタートアップの創出にポテンシャルのあるシーズを全国から引き出し、国際市場への展開を含め、大学等発スタートアップの創出に向けた取り組みについて質・量共に充実させ、大学等発スタートアップの継続的な創出を支える、人材・知・資金が循環するエコシステムの形成を目指すプログラム

上記に、令和 5 年度にTongali-PF含め、全国の9つのPFが採択されております。

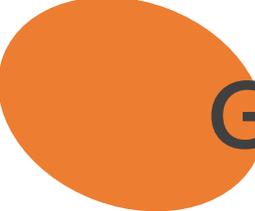
# GAPファンドプログラムとは

- ◆ 大学の基礎研究と事業化の間に存在するギャップ（GAP）を埋めるために、大学研究者に開発資金を供与し、その後のインキュベーションプログラムを通して事業化を推進するプログラム

# GAPファンドプログラムの対象

- ◆ **仮説検証プログラム（もしくはそれに類するプログラム）を受講済の研究者**
- ◆ 研究機関の革新的技術シーズを基にグローバル市場を目指す大学等発ベンチャーや、研究機関の革新的技術シーズを基にSDGsの達成や地域の社会課題解決にも資する社会的インパクトの高い大学等発ベンチャー設立を目指す研究者
- ◆ 既存企業ではリスクを負えないポテンシャルの高い技術シーズの事業化に挑戦するベンチャー設立を目指す研究者

※ 既に起業しているベンチャーを支援するプログラムではないため、**起業前の研究者が対象**となります。また、**研究費ではなく、起業に向けた検証資金である**旨ご留意下さい。



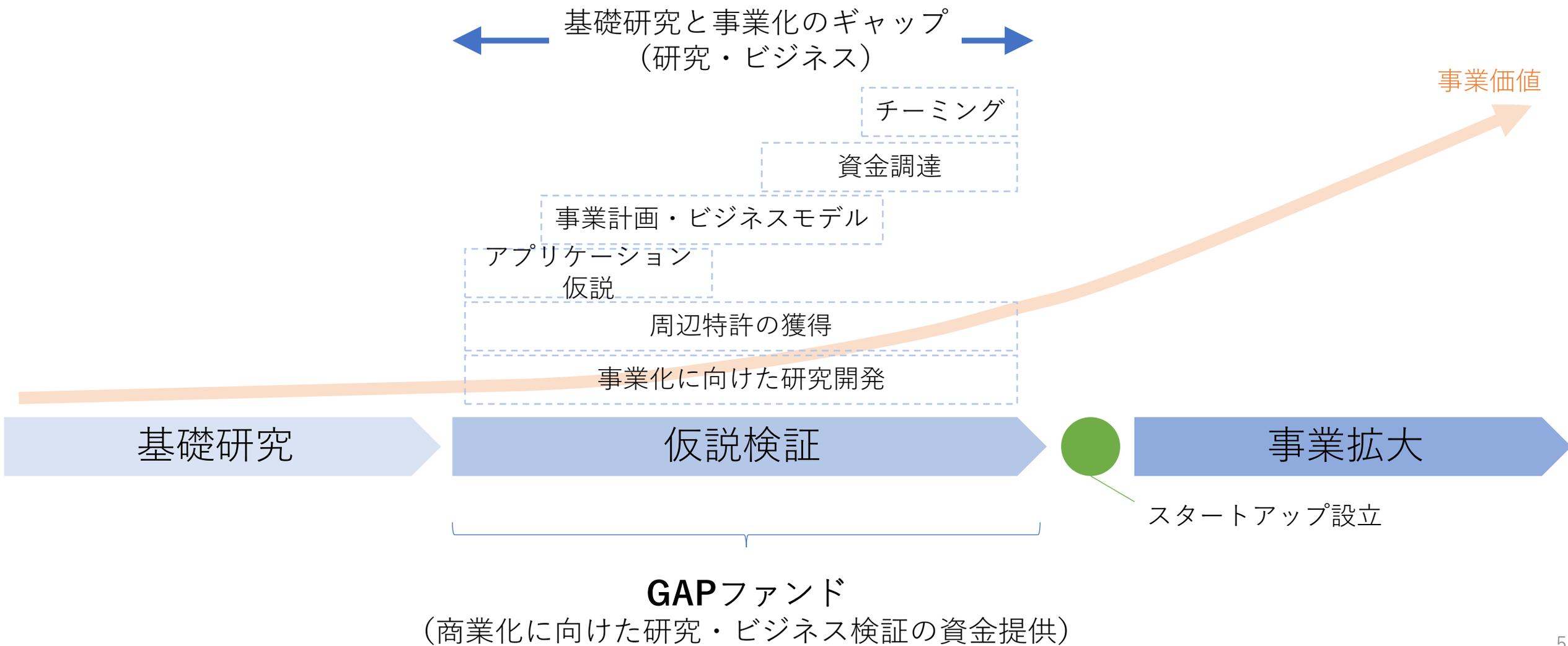
# GAPファンド応募対象大学・機関

◆以下15大学・機関に所属している研究者が応募対象です

- ・名古屋大学
- ・豊橋技術科学大学
- ・岐阜大学
- ・三重大学
- ・名城大学
- ・藤田医科大学
- ・名古屋市立大学
- ・静岡大学
- ・浜松医科大学
- ・豊田工業大学
- ・岐阜薬科大学
- ・名古屋工業大学
- ・静岡県立大学
- ・静岡理工科大学
- ・自然科学研究機構

# GAPファンドとは

- 大学発新産業創出基金事業において、大学の研究成果と事業化の間のギャップを埋めるため、事業化に向けて達成すべきマイルストーンを設定し、事業開発や研究開発を行う資金を提供



# 大学発新産業創出基金事業

- 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）に造成された、スタートアップ育成5カ年計画を踏まえ、大学等発スタートアップ創出力の強化に向けた基金事業

## 大学発の研究成果の事業化支援 (大学発新産業創出基金事業)

**進捗**  
2023年3月末に基金造成し、年度明けから順次公募を実施。2023年度は500件程度の支援目標に対し、これまでに約400件の事業化支援を実施（9月末時点）。8月には、「スタートアップ・エコシステム共創プログラム」及び「ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム」の公募を行い、それぞれ令和6年2月及び4月に支援開始予定。

**KPI**  
大学からのスタートアップ事業化を支援した件数：100～200件（2021年度）

2027年度までに大学からのスタートアップ事業化の支援件数 **5,000件を目標**（累計）

文部科学省

令和4年度第2次補正予算額 **988億円**

**目標**

(1) **社会・経済にインパクト**を生み、国際展開を含め**事業成長するポテンシャル**を有する大学等発スタートアップの創出を質・量ともに充実

(2) 大学等発スタートアップの継続的な創出を支える、**人材・知・資金が循環するエコシステム**の仕組みを全国に形成

**事業内容**

**①ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム**

**②スタートアップ・エコシステム共創プログラム**

ディープテックの優れた研究成果を基に、国際市場への展開を視野に社会・経済に大きなインパクトを与える大学等発スタートアップの創出

- ・国際市場展開に向けた事業化及び研究開発マイルストーンを設定し、その達成に向けて必要な取組を推進
- ・国内外の事業化推進機関と研究者が共同代表として一体となって推進
- ・採択後1年以内の経営者候補人材の参画を原則 等

**【実施期間・費用】**

- ・最長3年程度（新規公募・採択はR9年度まで）
- ・原則3億円（直接経費）程度を上限

**A) 拠点都市プラットフォーム共創支援**

- ・ギャップファンドプログラム運営等
- ・経営者候補・事業化支援人材の確保育成等の機能充実
- ・海外のエコシステムとのネットワーク構築・強化
- ・地域プラットフォームに対するメンタリング 等

**B) 地域プラットフォーム共創支援**  
※A)以外の新たなエコシステムを共創

- ・ギャップファンドプログラム運営等
- ・産学官金の連携体制構築 等
- ・＜拠点都市プラットフォームと連携＞
- ・概念実証フェーズ以降のギャップファンドプログラムの実施 等

**【実施期間・費用】**

- ・支援開始日からR9年度末まで
- ・各プラットフォームが実施するスタートアップ創出プログラムの新規公募・採択はR9年度まで
- ・用途仮説設計から概念実証フェーズの手前：原則500万円程度まで、1年程度
- ・概念実証以降のフェーズ：原則6000万円程度まで、最長3年程度

※このほか、全国ネットワーク構築支援を実施予定

6

# GAPファンド全体概要①



# GAPファンド全体概要②

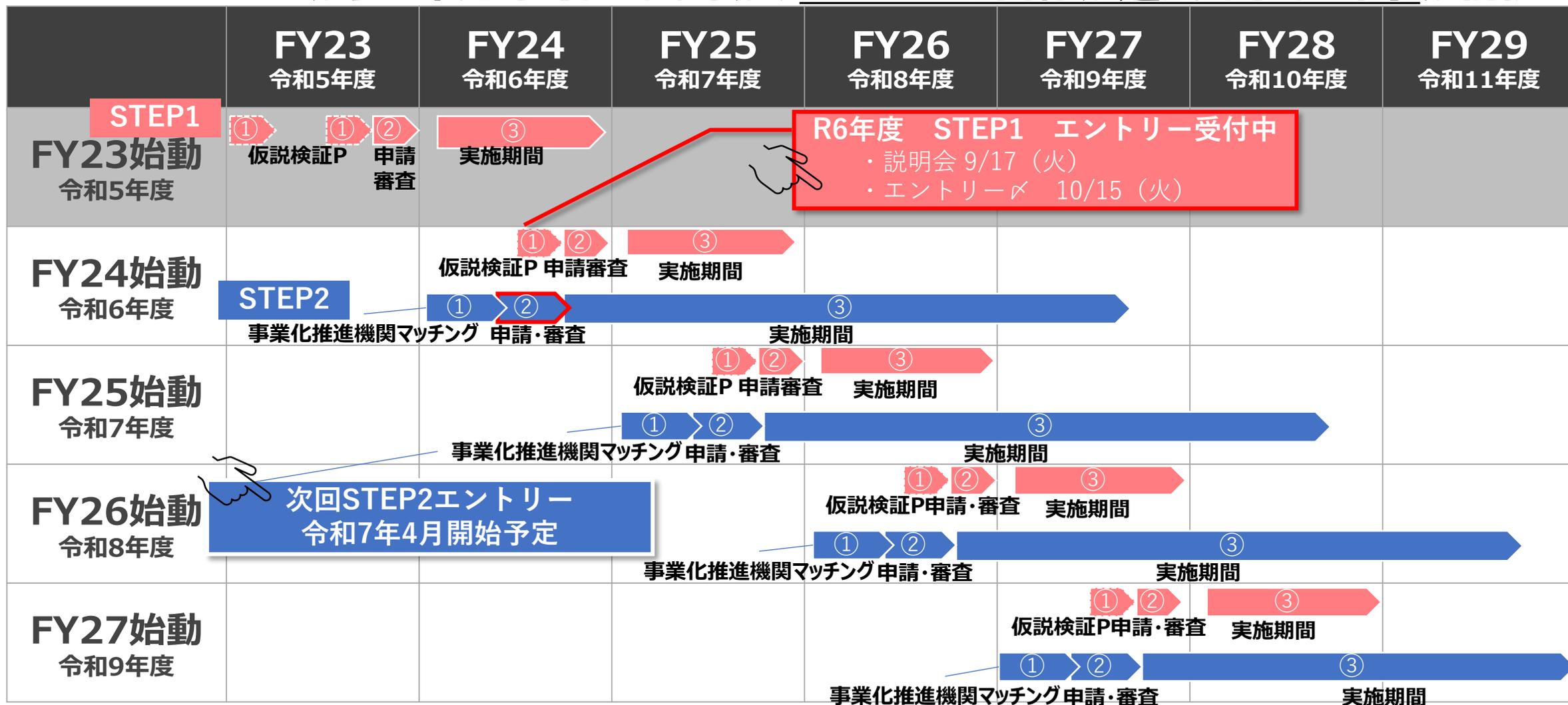
	ステップ 1	ステップ 2
通常枠の最大採択金額 (特別枠)	500万円 <u>(1,000万円)</u> <b>医療系 (創薬) のみ特別枠を設定</b>	6,000万円 <u>(1億円)</u>
目的・対象	革新的な技術シーズについて ・顧客を作るためのトラクション作り ・課題とSolutionのFitを検討し、ビジネスとしての可能性を評価する。	本格的にSU組成を目指す。 ・ビジネスとしての可能性評価 ・PoCを固めていくステージとして、Product/Market Fit (PMF) の設計を目指す。
技術分野	医療系 (創薬以外、創薬) : 医療分野、創薬分野、介護・福祉分野 モノづくり-Deep tech 系 : 上記以外全ての分野	
実施期間	2025年6月頃～2026年3月末	最大3年 (1年毎に継続可否の審査有)
採択件数 (合計)	年間 35～50件程度 (採択率50%程度)	年間 6件程度 (採択率50%程度)
応募資格等	研究代表者は、15機関に所属する教職員、学生 (博士、修士課程相当の学生に限る) <b>仮説検証プログラム等の事前研修の受講</b>	※博士・修士課程の学生は採択金額が異なります <b>VC等事業化推進機関の参画が必要</b>
申請制限	R4実施タイプA、START (プロジェクト支援型)、START (起業実証支援)、D-Globalの過去採択シーズでの申請不可	START (プロジェクト支援型)、START (起業実証支援)、D-Globalの過去採択シーズでの申請不可
インキュベーションプログラム	・起業化に向けたセミナー ・経営人材マッチング、等	・事業化推進機関を中心としたメンタリング ・海外研修プログラム、経営人材マッチング 等

採択金額と別枠で**特許関連費用**の支援あり

# 実施スケジュール（イメージ）

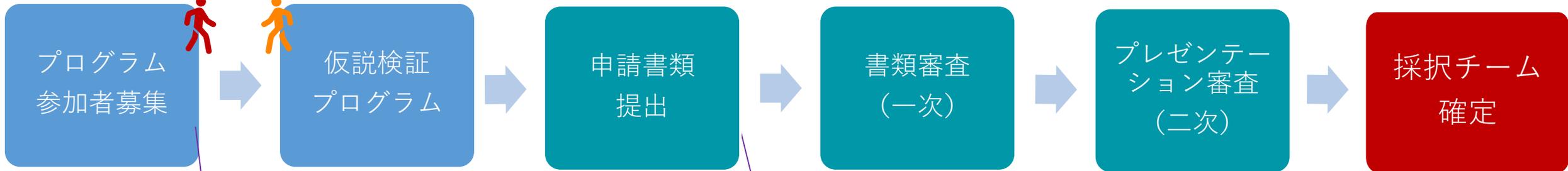
※現時点の予定です。最新情報はTongaliホームページでご確認ください。

- ・STEP1は各年度で募集、STEP2はR6年度からR9年度まで合計4回募集
- ・STEP 2からの申込みも可能であるが、STEP 1の目標が達成できている事が前提



# 採択までのスケジュール（予定）

TeamUp



募集開始 9/2 (月)  
説明会 9月中旬  
募集締切  
10/15 (火) 12:00

10/22 (火) 9:30~13:30  
医療系補講 14:30~16:30  
11/19 (火) 9:00~13:00  
12/17 (火) 9:30~13:00

2025/1/10 (金)

2/14 (金)

モノづくり系 2/27 (木)  
医療・創薬系 3/4 (火)

3月上旬

申請書  
◆エントリー様式 1

申請書 (12月頃)  
◆申請書様式 1 研究開発課題の概要  
◆申請書様式 2 課題予算案  
◆申請書様式 3 プレゼン資料

# エントリー方法

エントリー用紙は、**ご所属機関の産連部門から入手**して頂き、以下の項目を記入して頂きます

- ・テーマ
- ・研究代表者の連絡先情報
- ・技術分野
- ・技術シーズの内容
  - 発明（周辺特許を含む）
  - 技術の内容
  - 現在構想している事業プラン
- ・仮説検証プログラムへの参加について
- ・産学連携の担当窓口

当該技術シーズによるベンチャーを創出しようとした場合、技術シーズの発明者、技術シーズが帰属する機関等（共願人）の同意が得られているか、その他に関連する発明が無いか、等について記載ください。共同出願の場合、最終選考の申請時まで、共願人の同意を得る必要があります。

# チームアップ

申請・審査

支援期間

研究チーム



研究代表者



共同研究者

修士課程・博士課程の学生でも可能

大学  
産連部門



産連伴走者



知財担当者

本プログラムのエントリー後  
各機関の産連部門等アサイン  
(エントリー前に各機関の産連部門にご相談ください)

外部人材



CxO候補人材

マッチング  
(採択後)

- ・チームの一員として、事業化開発を加速
- ・不在チームにはマッチングを実施

※STEP2

- ・各チームの伴走人材が、研究代表者の申請書・プレゼン資料作成をバックアップします
- ・CxO候補人材不在のチームには、採択後、マッチングを実施します

# 仮説検証プログラム（参加必須）



## LEAN LAUNCHPAD

THE EARLY STAGE SUPPORT PROGRAM

### 内容

- 創薬・医療機器等の医療分野技術向け補講
- 技術シーズの用途探索手法の講義
- 技術シーズの用途探索の演習
- 技術価値検証法の講義
- 技術価値の検証演習
- ビジネスモデルの構築
- ビジネスモデルの構築演習
- ピッチ資料の作り方

### POINT

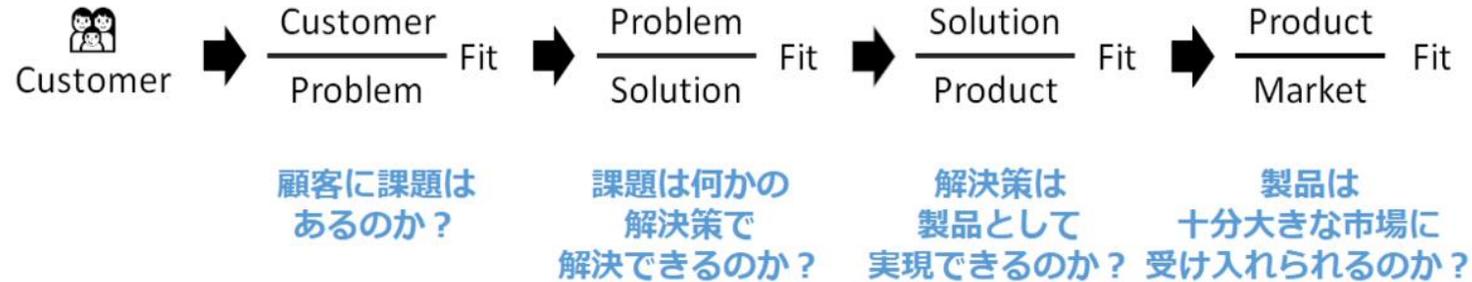
- ・対象：研究代表者・産連伴走人材
- ・研修期間を通し、事業構想のブラッシュアップ（顧客開発の仮説検証）を実施
- ・研修内容を反映し、チーム内で申請書類を作成
- ・研修内容が反映しやすいよう、ビジネスプレゼンテーションのひな型を用意し、ビジネスモデル検討の際の高位平準化を図る

### ピッチテンプレート

SCORE大学推進型(拠点都市環境整備型)審査会に向けて

**GAPファンド申請は、チームでの仮説検証プログラム受講を条件とします**

# GAPファンド審査会準備



## ◆ Problem / 課題

### ◆ Solution / 解決策

#### ◆ Technology / 技術シーズ

#### ◆ Market / 市場

#### ◆ Business / ビジネス

#### ◆ Team / チーム

#### ◆ Tongali / とんがり

#### ◆ Budget / 経費執行計画

**GAPファンド審査会：2025年2月-3月** (モノづくり系 2/27 (木)、医療・創薬系 3/4 (火))

# 採択後のインキュベーションプログラム

## ◆CxO候補人材マッチング

- 採択後起業後のCxO候補人材がないチームに対して、CxO候補人材マッチングを実施します。

## ◆各種研修

- 資本政策、特許戦略をはじめとした起業後必要になるスキルを習得頂く研修を実施致します。

## ◆達成目標（マイルストーン）審査

- 申請当初に設定頂いた達成目標（マイルストーン）を達成できたのか否かの審査を支援期間終了後実施致します。

## ◆Demo Day

- 支援期間終了後の発表会を実施致します。

## ◆その他

- 事業化を推進頂くツールとして、以下を提供する予定です。
  - ✓ビザスクの活用（ビジネスの特定分野に知見の持つ個人に相談できるサービス）
  - ✓メンタープールの活用

# (参考) 令和5年度採択 STEP1

## インキュベーションプログラム・スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
JST対応		・計画書作成	・承認										
			・採択公表 (Web掲載)										
インキュベーションプログラム		<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <b>起業準備セミナー</b>                      ・1回目 (5/31) ・2回目 (7/23) ・3回目 (9/11) ・4回目 (11/29)                 </div>											
		<CxO候補人材マッチング>		マッチング			チーム加入						
		<知見活用>		・メンタープール活用、インタビューサービス利用									
			・事業化推進機関交流								・DemoDay (2月1週目で調整) ・終了時審査		
		試作・検証環境の活用			特許取得費用の支援					・シーズ集発行 (STST)			

### ◆ チームアップ・外部の知見活用

- CxO候補人材マッチング
- PF共有のメンタープールへの相談
- ビジネスの特定分野に知見を持つ個人に相談・インタビューできるサービスの利用

### ◆ 起業準備セミナー

- 資本政策、特許戦略をはじめとした起業に必要なスキルを習得

### ◆ Demo Day (成果報告会)

- 技術シーズと事業モデルについてベンチャーキャピタリストや協業パートナー候補へのピッチを実施

### ◆ 達成状況確認

- 申請時に設定した達成目標 (マイルストーン) に対する進捗状況を確認
  - ✓ 終了時審査

### ◆ その他ツール・イベント

- ✓ 試作・検証環境の活用 (Tongali Lab / 共用機器)
- ✓ 技術シーズ集 (STST) の発行
- ✓ 事業化推進機関との交流
- ✓ 特許取得費用の支援

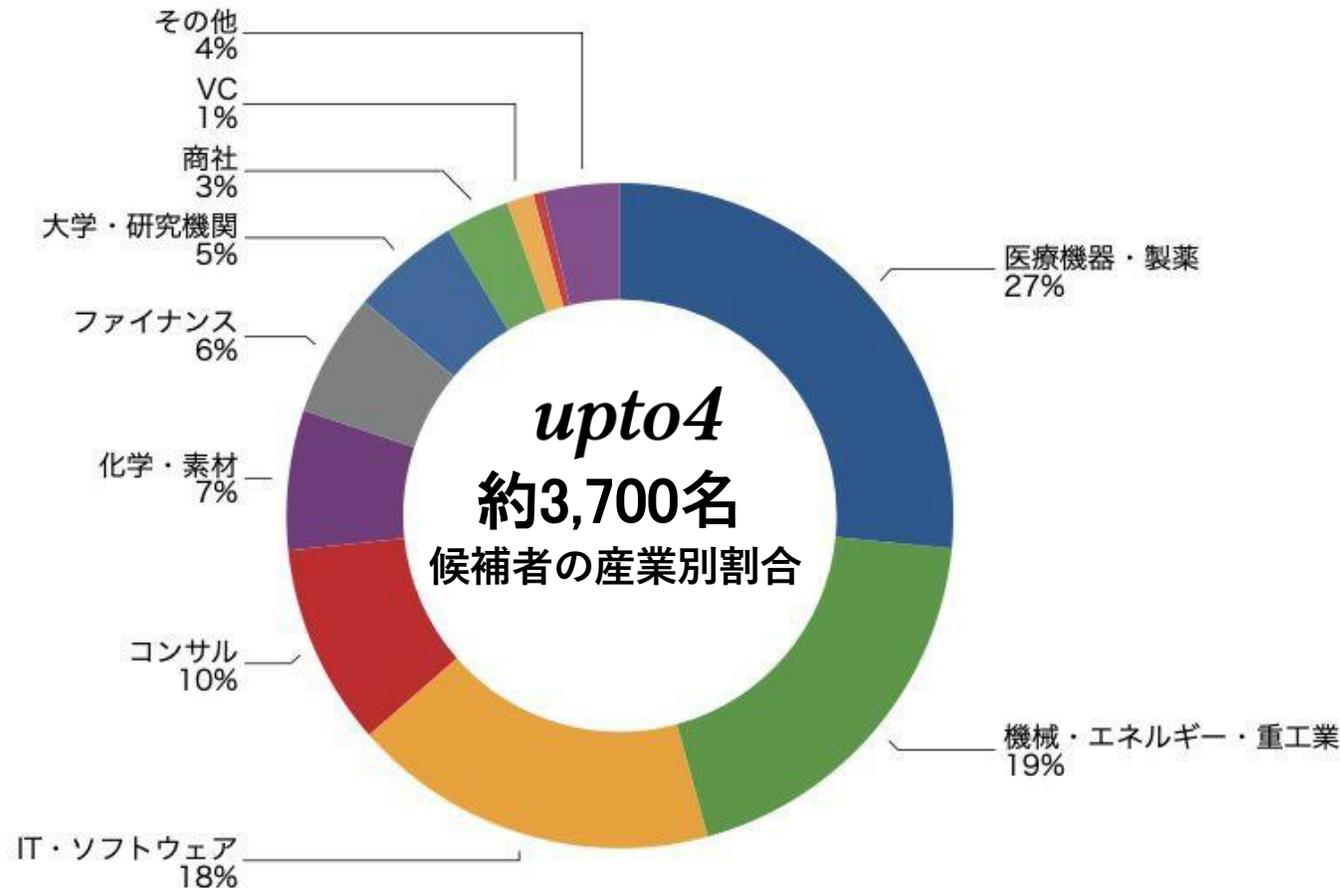
# 人材プールを活用したマッチング

○upto4社：研究開発型スタートアップの創業支援・経営チーム組成支援に特化した事業者のプールを活用

- アカデミア+ビジネスのバックグラウンドを有する人材が多数登録
- チームごとの求人要件定義や面談をディープテック領域のアカデミア・ビジネス経験者がサポート

○候補者のモチベーション

- 自分の専門性や経験を活かしたい、出身地域に貢献したい
- リモートワーク+低リスクの副業で、将来のジョイン先を探索



## Pharma & Medical



## Electronics & Robotics



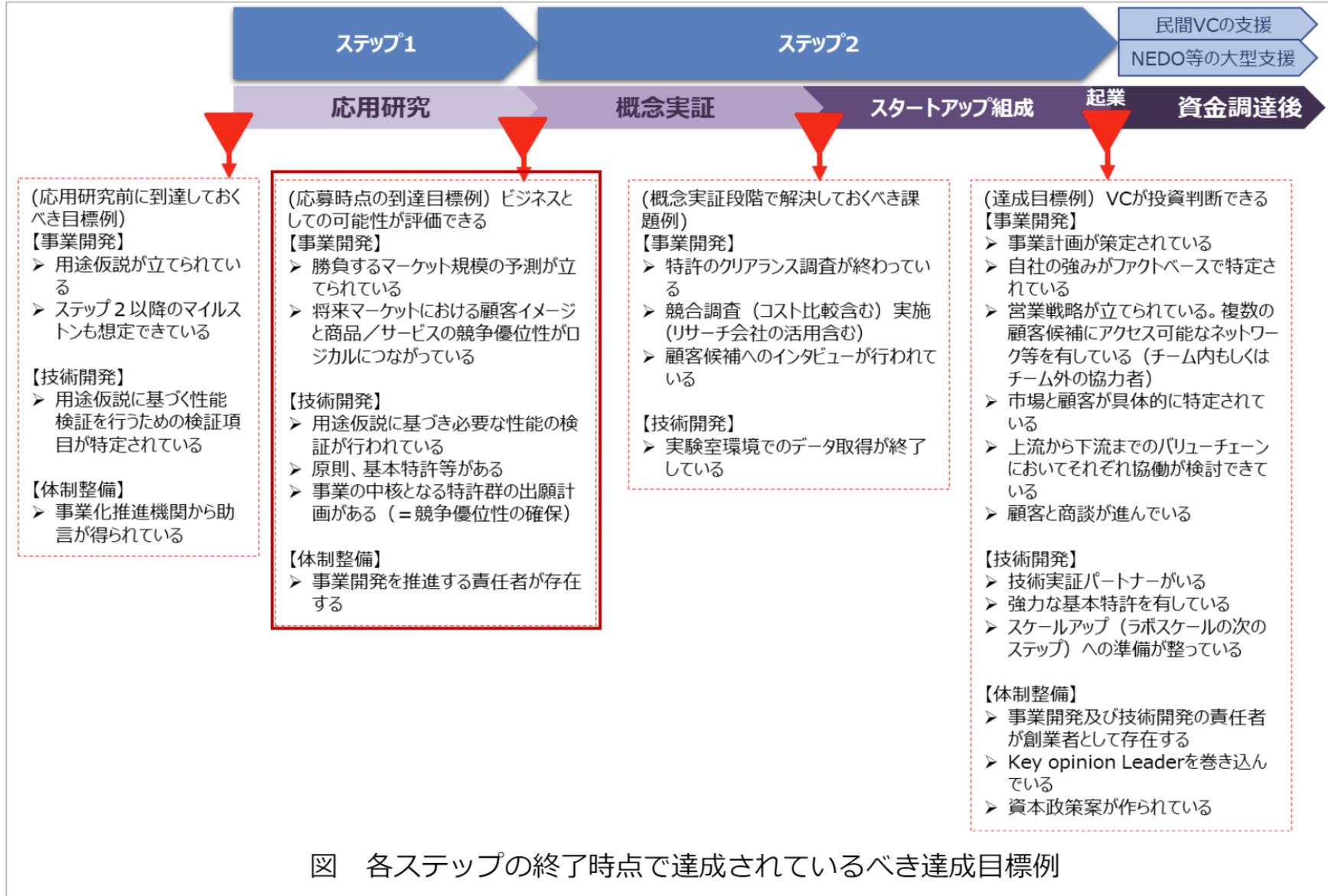
## Chemistry & Material



## Consulting & Finance



# 達成目標（マイルストーン）



# 起業準備セミナー

- 概要：資本政策、特許戦略をはじめとした起業に必要なスキルを習得
- 受講対象者：チームメンバー（研究代表者・共同研究者・CxO候補人材等）  
各機関 産連部門 伴走支援者等（採択チーム以外含む）
- 実施時期・方法

	日程	講義内容	講師	備考
①	5/31 (FRI) 10:00-12:00	利益相反・大学特許	名古屋大学	・オンライン
<a href="https://us02web.zoom.us/j/82847720679?pwd=UmI1SEpxalFxQm50V3VaZFRmVG03QT09">https://us02web.zoom.us/j/82847720679?pwd=UmI1SEpxalFxQm50V3VaZFRmVG03QT09</a> ID: 828 4772 0679 パスコード: 873385				
②	7/23 (TUE) 9:30-12:00	経営戦略	弁護士法人 内田・鮫島法律相談事務所	・オンライン
<a href="https://us02web.zoom.us/j/88106579928?pwd=YW41YzNxZlIKeEc4cWFSeGZ5ZmdaUT09">https://us02web.zoom.us/j/88106579928?pwd=YW41YzNxZlIKeEc4cWFSeGZ5ZmdaUT09</a> ID: 881 0657 9928 パスコード: 210934				
③	9/11(WED) 13:00-17:00	(1) マーケティング・ブランディングセミナー (2) 金融機関の活用法 -VBによる調達経験談 等	(1) ブランディングファームTCD (2) 三菱UFJ銀行 スタートアップ企業経営者	・対面 ・懇親会あり
④	11/29 (FRI) 14:00-17:00	資本政策・ストックオプション	(株) アカデミック・ギャングスター	・対面 ・懇親会あり
⑤	12/18(WED) 15:00-17:00	VCについて	名古屋大学	・対面 ・懇親会あり

# 情報発信 シーズ集の作成

## 参考：2022 Tongali GAPファンドシーズ集「S T S T」



東海地区の大学発ベンチャー創出を目的として、「Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)」は、科学技術振興機構の研究開発成果展開事業<大学発新産業創出プログラム (START)> 大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援>を活用して、GAPファンドとインキュベーションプログラムを実施しています。2022年度にこのプログラムに採択された研究者の無限の可能性を秘めた技術シーズをご紹介します。

STST

### 想いを、カタチに。

東海地区の大学発ベンチャー創出を目的として、「Tokai Network for Global Leading Innovation (Tongali)」は、科学技術振興機構の研究開発成果展開事業<大学発新産業創出プログラム (START)> 大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援>を活用して、GAPファンドとインキュベーションプログラムを実施しています。2022年度にこのプログラムに採択された研究者の無限の可能性を秘めた技術シーズをご紹介します。

2022  
Selected Tech Seeds for  
Startup in Tongali  
Tongali GAP Fund Seasons Collection

Number 01 | 名古屋大学 秋山 真理  
食糧蛋白質生産の加速化技術

「美味しいものを食べて健康に暮らす」という当たり前を守る  
未曾有の食糧危機から、人類を救う一歩に



Nagoya University / Mami Akizawa

これから30年間で必要になる食糧蛋白質の量は、  
人類が過去8000年間に消費してきた量に匹敵。

今後30年間で必要になる食糧蛋白質の量は、人と人類が過去8000年間に消費してきた量に匹敵するという試算があります。現在、78億人の世界人口は2050年には21億人の100億人に達すると予測されています。単純に現在の人口に加えて、新たに増加する22億人の食糧蛋白質を同じように用意せねばなりません。

主要な食糧蛋白質には大豆類、家畜(家禽を含む)および魚類があり、最近では新興食糧として昆虫、微生物および培養肉があります。大豆類は家畜の生産量に比べて効率が低く、新興食糧は生産量がまだ低く、消費者の受容性や安全性がクリアされておらず、そこで、私達は生産拡大の余地が大きく、良質な食糧蛋白質である魚類に着目して技術開発と事業化に取り組んでいます。現在、世界中で取り込まれている養殖技術の開発トレンドには、低魚粉化飼料による生産コスト削減、遺伝育種や遺伝子改良による成長促進、飼料技術のデジタルトランスフォーメーション、陸上養殖などがあり、これらを組み合わせることで生産効率を高めることができるとしています。しかし、食糧危機を乗り越えるためには更なる技術革新が必要で、私達は、異分野連携の技術と魚類養殖に取り組むべきと考えています。養殖技術が得意ではないかと考

想し、総合大学である名古屋大学の環境を活かして、プラズマ工学と内科医学の技術基盤を導入した新しい食糧養殖技術の開発を促しました。ただ当でずばりにプラズマ工学と内科医学を魚類養殖に展開した訳ではありません。それぞれの特性と優位性を理解した上で相乗効果が期待できると判断し、研究開発に着手しました。

異分野融合で生まれたのは美味しく安全な魚を  
省飼料・省エネルギー・高速で作る技術。

プラズマをご存知の方は多いと思いますが、プラズマは液体、固体に次ぐ物質の第4番目の状態のことを言います。身近なところでは、雷閃電の発生は雲層や電場がプラズマ状態になっています。近年、食糧プラズマという安全で扱いやすいプラズマが開発され、農業では成長促進や抗病性の向上に、医療では癌治療や創傷治癒として応用が進められています。植物にもとくに良い効果が期待されるのにも関わらず、期待した効果が得られず、プラズマは分子を分解したり結合したりする力が強く、様々なプラズマ生成物を生み出します。生物に対するプラズマの様々な効果はプラズマ生成物の薬理効果が原因と推定されています。

早速、ゼアプロフェッショナルズを共同創設して、魚と飼育水に食糧プラズマを開発し影響を調べてみました。その結果、食糧プラズマ

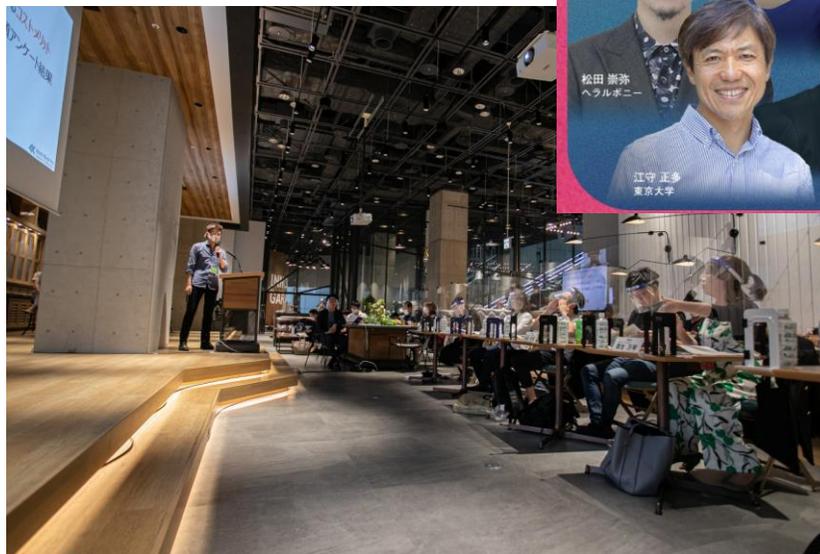
# ネットワーキング： ビジネスパートナーへのプレゼンテーション（DemoDay）

- 概要：技術シーズと事業モデルについてベンチャーキャピタリストや協業候補へのピッチを実施
- 時期：2～3月（2025年は2/4～2/6で調整中）  
（同時開催のテクノロジー関連イベントの日程に準拠）

➤講評：採択時の審査員・メンター等

➤聴講者（想定）

- ・ベンチャーキャピタリスト
- ・協業候補（事業会社等）
- ・地域の人材コミュニティ
- ・自治体等支援者
- ・大学 産連部門 等



# Tongali Lab / 共用機器の活用

## 1. 試作スペース Tongali-Lab

Tongali連携大学の学生や研究者であれば利用可能



名古屋大学



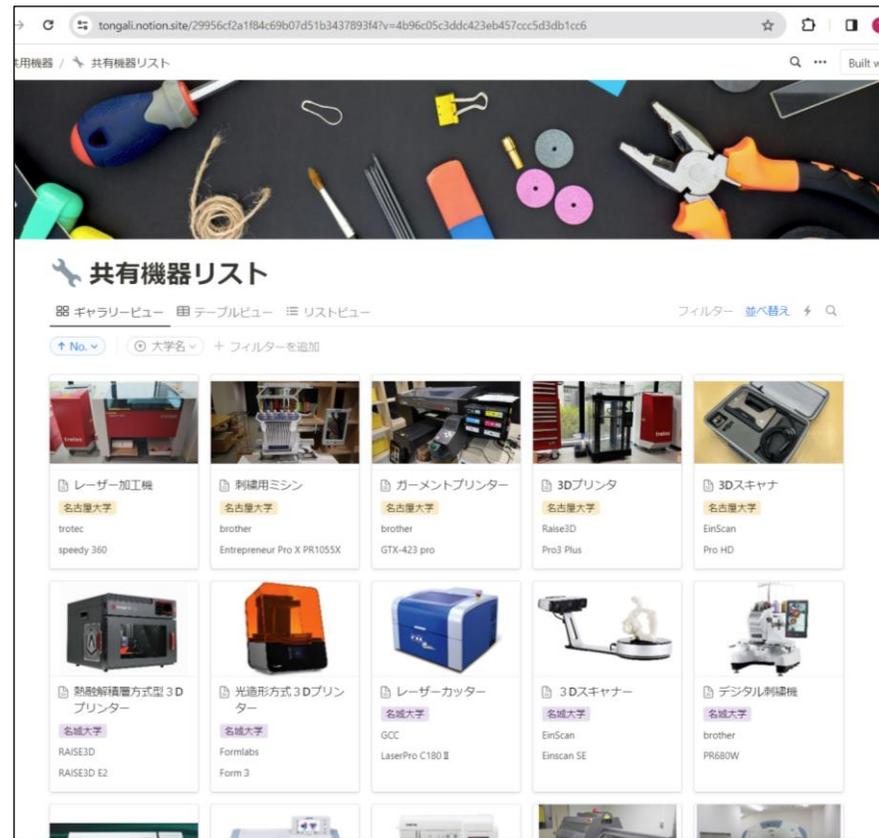
名城大学



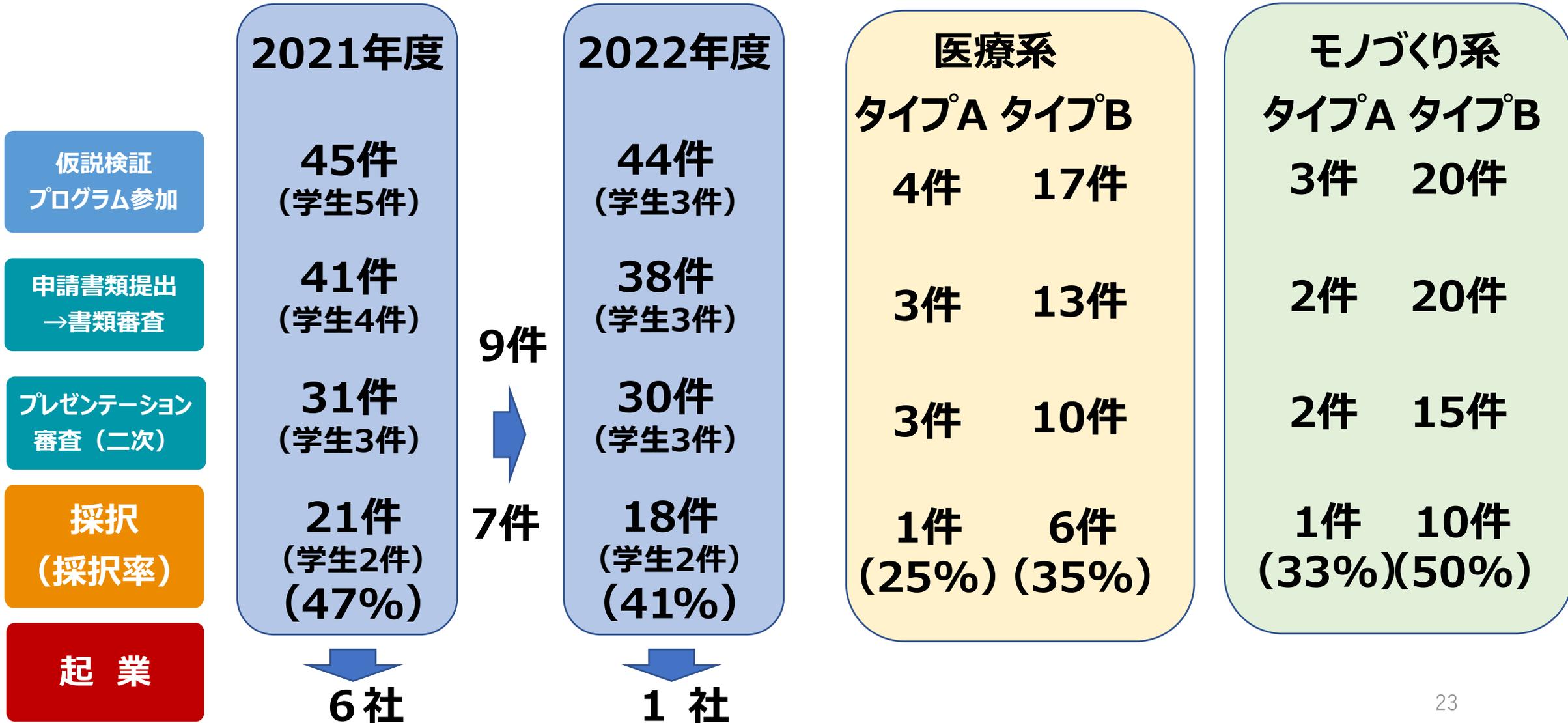
光産業創成大学院大学

## 2. 機器の相互利用

Tongali 共有機器リスト



# Gapファンドプログラムの実施実績 (2021年度SCORE、2022年度START)



# GAPファンドの実施状況 (大学発新産業創出基金事業 2023年度・2024年度)

## STEP1

- ・ 2023年5-8月  
10月-12月
  - ・ 2024年2-3月
  - ・ 2024年6月～
- 仮説検証研修を2回実施  
書類審査・ヒアリング審査・採択決定  
採択チームに対するインキュベーションプログラム

## STEP2

- ・ 2024年4月～
  - ・ 5月～
  - ・ 8月～
  - ・ 9月
  - ・ 11月～
- エントリー開始  
事業化推進機関（VC等）との  
マッチングを開始  
事業化推進機関と申請書作成  
ヒアリング審査・採択決定  
プログラム実施～

エントリー  
(仮説検証 等)  
参加

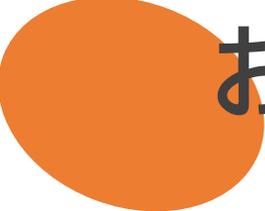
申請書類提出  
→書類審査

プレゼンテーション  
審査 (二次)

採択

## 2023～24年 GAPファンド の実績数

ステップ1		ステップ2	
医療	モノづくり	医療	モノづくり
31件	29件	12件	3件
24件	24件	申請期間中	
19件	20件	—	—
15件	15件	—	—



# お問い合わせ先

内容についてのご質問は以下にお願いします。

名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

スタートアップ推進室

Tongaliプラットフォーム事務局

[tongali-x@aip.nagoya-u.ac.jp](mailto:tongali-x@aip.nagoya-u.ac.jp)



# Tongaliからはじまる Tech Innovation Smart Society の実現

